

われいやしき身なる者なり

『三十二番職人歌合 第15番左方 箕づくり』

三十二番職人歌合は日本の中世（12世紀 - 16世紀）期に編纂された職人歌合の一つ。「いやしき身なる者」が歌を番えるという形式をもつ。「いやしき身なる者」とは鳥売、材木売、竹売のような行商人がそれであり、これらの職能は、経済流通・交通の変化・発展や、芸能の発展、民間仏教の布教といった時代背景をもって出現したものである。（ここまではウィキペディアより抜粋）

「いやしい」とは品が悪いという事であり、この場合の品とは人の階級、身分、家柄という事である。善と悪、光と闇、善だけでは善とはなり得ず、光だけでは光ならず。

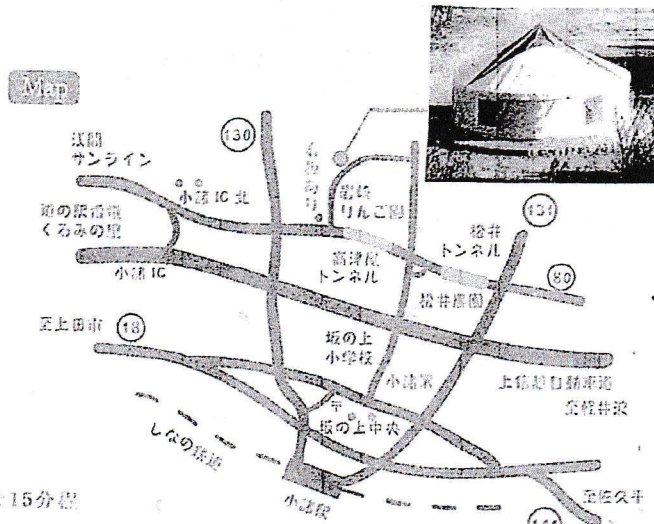
中世において行商人とは日の国の民の血脈であり、生活の必要を満たす人々であった。
現世において私は「いやしき身なる者」であることに誇りを持って生きております。

竹遊会 たけお

Map

アクセス

〒384-0801
長野県小諸市甲 4717 (小諸エコビレッジ内)



小諸エコビレッジ
(旧) 地区立小諸高等学校
(小諸市甲 4717)

▼電車の場合

小諸駅からタクシーで15分程

▼車の場合

上田方面から秋田サンライン「高津屋トンネル」手前を200m
小諸市内より国道18号「坂の上」右方を高津方面に曲がり「泉の里」右板を左に300m